

シクロデキストリン グルカノトランスフェラーゼ (粗酵素)

Cat. No. NATE-1812

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、シクロマルトデキストリングルカノトランスフェラーゼは、**1,4- α -D**-グルカン分子の一部を環化する化学反応を触媒する酵素であり、**1,4- α -D**-グルコシド結合の形成を通じて行われます。この酵素は、グリコシルトランスフェラーゼのファミリーに属し、特にヘキシシルトランスフェラーゼに分類されます。この酵素活性を持つ製品は、遺伝子操作された *E. coli* から簡単に精製されました。

用途 産業; 合成; 栄養; 理学

別名 パチルス・マセランス・アミラーゼ; シクロデキストリン・グルカノトランスフェラーゼ; α -シクロデキストリン・グルカノトランスフェラーゼ; α -シクロデキストリン・グリコシルトランスフェラーゼ; β -シクロデキストリン・グルカノトランスフェラーゼ; β -シクロデキストリン・グリコシルトランスフェラーゼ; γ -シクロデキストリン・グリコシルトランスフェラーゼ; シクロデキストリン・グリコシルトランスフェラーゼ; シクロマルトデキストリン・グルコトランスフェラーゼ; シクロマルトデキストリン・グリコシルトランスフェラーゼ; コンチザイム; α -1,4-グルカン 4-グリコシルトランスフェラーゼ (環化); BMA; CGTase; 中性シクロデキストリン・グリコシルトランスフェラーゼ; 1,4- α -D-グルカン 4- α -D-(1,4- α -D-グルカノ)-トランスフェラーゼ (環化)

製品情報

由来 大腸菌

外形 透明から半透明の黄色の溶液

EC番号 EC 2.4.1.19

CAS登録番号 9030-09-5

活性 未定

反応 (1 $\rightarrow$ 4)- α -D-グルカン鎖の一部を(1 $\rightarrow$ 4)- α -D-グルコシド結合の形成によって環化します。

備考 この製品は新鮮に調製する必要があるため、注文を確認してから約2週間かかります。凍結と解凍のたびに部分的な不活性化が起こる可能性があります。したがって、必要に応じて分配し、-20 °C以下で保存する必要があります。保存期間の延長に伴い、酵素活性はある程度低下するため、製品はできるだけ早く使用するべきです。この製品は製造および保存プロセスで濁りや沈殿物が生じる可能性があります。溶解後に混合することができ、通常の使用には影響しません。この製品は科学研究用に限られ、臨床診断や治療には使用できず、食品や医薬品として使用することもできず、一般住宅に保管することはできません。あなたの安全と健康のために、実験用スーツを着用し、使い捨て手袋を着用してください。

使用法とパッケージング

包装 100ml

保管・発送情報

保存方法 -20 °C以下で、少なくとも1ヶ月間。